

明くる平和なよい國をつくるにはまず「ぜいきんをおさめることだ」きれいな着物を着たり、ぜいたくをしたり、あそんでばかりいては、いつになつてもぜいきんはおさめられせん。

少しずつのお金でも、ちよきんしておいて「ぜいきん」がきたらすぐに、役場に持つていけるようにしたら、ほかの人にもいわくをかけなくともすみませう。「ぜいきんは、こまつている人や、病氣で働けない人や、これから先のいろいろ

で、税金はなぜ納めなければならぬか、又税金はどのようなことに使はれているのかなどについて調べて、納税と云う事がどんなに大切な事であるかと云う事を知つていたからである。

學校を造つたり、道路を改修したり、おそろしい病氣の予防のためなど私たちの生活に幸福にするために税金が使はれている。

この前の時間に昭和二十八年度の郡内の各町村の納税成績

(裏面につづく)

冬休み中の家庭指導

いよいよ、楽しかつた二學期も終りに近づき、まもなく冬休みにはいることになりました。學校でもそれぞれ學年に應じた指導計画が立てられてゐることを思いますが、長い休みに入ると、ともすると放任されがちな子供の生活に對し、皆様の御家庭でも次のような着眼をもつて指導されることが望ましいでしょう。

●生活指導

冬休みは大掃除、元旦など

◎ 生活指導

冬休みは大掃除、元旦などの家庭的、社會的の行事が重なります。そこでこれらのいろいろな經驗をおして、身につけたしつけをしていきたい

戰歿者遺骨受領

昭和十九年十二月十四日中華民國河北省靈山鎮北方南溝里峪に於て戰死され、十一月十日死亡通知のあつた太田地區大字根小屋出身故陸軍上等兵金田泉一氏には十一月二十九日潮來町長勝寺において、縣執行の遺骨傳達式を終了後、町長の附添いで午後一時に地區の各種團體代表多數の出迎により無言の歸還をなされた。

農事研究展示發表會の開催

新麻生町の農家の青年達によつて結成されている農事研究會があります。これ等の方々の一年間の研究の結果の展示の一年間の研究の結果の展示左記のとおり開催されます。多敷御來場をお待しています見よ、聞け、近代農業は農業にあらずし、て腦業なり

工業調査のお願い

十二月三十一日附で實施される工業統計調査に該當の事業所は、調査員がお伺いたしますから調査事項にお答え願います。

農業冬期基本調査

冬期基本調査は今年度に限り
來年二月一日附で實施される
ことになりました。

畜犬には鑑札を

五月以降各地區の畜犬の登録数は約五百五十頭になりましたが、保健所のお話では約三百頭の未登録犬が本町にはあると事で、未登録犬の捕獲と飼主の皆様に御迷惑をおかけする様な事にもなります。

種痘

來年四月入學される方に對し
第一期の種痘を行います。
回覧が廻りましたらお見のが

昭和三十年産水稻採種圃
種子の希望者へ

す。
計画を立てる場合は冬休みの特質上、たとえば冬に關しての理科的のもの、年末年始にかけての社會的内容のものを題材として研究させること一案です。

以上簡単に冬休み中の家庭の指導を述べましたが、健康生活、學習の三つがアンパランスにならないよう適切な管理と指導に留意いたしましょう。

去る十一月二十九日農業改良相談所に於て、係官の慎重なる審査の結果、圃場合格した三九点中左記二三点が種子用として合格した。

つきましては希望者は早急に希望種子と現物交換又は現金配布を受け、一粒でも多く生産し、農家經濟安定の一環として全數量を最も廣く有効に利用される様御勧めいたします。

尙種類、品種及生産者は左記のとおりとす。

金南風	金田	寶	農林元號	根本	正夫	農林云號	根口	修一	金南風	椎木	忠	越南二號	久保田昭治	博道	農林一號	邊田	衛	農林元號	高栖	宗一	金南風	澁谷	進	農林元號	仲野	一男	農林一號	大里	國雄	金南風	小沼	吉隆	壽糯	鴨下	金義	右合格中農林一號に於ては災
-----	----	---	------	----	----	------	----	----	-----	----	---	------	-------	----	------	----	---	------	----	----	-----	----	---	------	----	----	------	----	----	-----	----	----	----	----	----	---------------

戸籍便り

の地方事務所長よりの依頼もあり、特に生産者に於ては種子以外に流用されぬ様御願ひいたします。

南 箕輪修一
橋門 大原茂重
南 箕輪 孝
十月分の届書より(敬稱略)

戸籍便り

九月份の届書より(敬稱略)

出生の部

麻生 飯嶋一二二女まち子

出生の部

富田	吉崎徳二女愛子
麻生	永作利雄長男芳也
全	羽生正夫三女弘子
全	藤上晴信三男勲
粗毛	奥村正長男利夫

富田 杉山三郎二男政信
麻生 越地留四郎二女久み子
全 深澤忠二男伸次郎
全 小林昭雄三男操
石神 茂木四郎三男義雄
全 庄司昭雄長男光男
全 山野仁長女とよ

全 富田 吉崎源一長女千代子
全 羽生幸三二男茂
全 田谷榮長女和世
全 山邊誠長男泰弘
全 齊藤久男二男勝男

藏川	山口翠二女朱實
青沼	大里旭三女民子
新宮	藤崎文男長男政晴
藏川	高須邦忠三女奈保子
白濱	邊田政四長男正秋
杉平	高柳省司長男一郎
青沼	橫山行二男秀夫

矢幡	片岡一四男豊
全	折笠正明二女洋子
石神	下河邊秀明三女直美
矢幡	矢幡榮二男隆
石神	大輪惣一長男幸一
根小屋	山本芳郎四女久子
宇崎	宮内常雄二男茂

宇崎 小峰四郎三女とよ子
四鹿 宮内春喜二女加代子
藏川 小林廣長男一雄

青沼 荒張英雄二女禮子
籠田 方波見七郎二女たか子
青沼 生輓二男啓

税金を納めよう

の表を見たが、私達の村が一番よかつた。それだから私達の學校にはストーブも入つたであらうし、運動具も教室の机も新しいので勉強出来るのだと私は思つた。

村の人々が一生けんめい働いて税金を納めて下さることは私達のため、いや町全体の幸福のためなのだ。

のしくみを進んだものになつて
なおりますことを、急がなければ
なりません」と、書いてあり
ました。いろんな仕事をした
り、私たちの生活をゆたかに
する方法は、たくさんあつて
も、もとなる資金が大切な
のだということに、氣がつき
ました。「今度作文を書いて
みる」と、いわれて、税金の

僕は國語で、「人々のために」の中で、大つなみに氣ずいて大切ないなむらに、放火することによつて、あぶないことを、村人に知らせてこれを救つたし、屋五兵衛の美しい話、水の便利をよくするため、苦心に苦心を重ねて難事を完成して村をゆたかにした保之助の話。田に水をおけるポンプの故障を努力によつて修理し、千五百町歩のかん水に成功した話を、勉強しました。又社會科の勉強で「進

か、ぶつびんぜいなどがあり、物を買った人が、はらう税金だということですよ。

なおその他、農業やえいぎょうをした所得。また土地などをもっている人が、はらう税金ということです。僕もこのことを聞いて、今までには税金をおさめない人がありましたが、おさめることにしましたがい、おさめます。税金を方がい、と思います。税金をおさめると、道をなすやら橋をかけるやらなどができま

「工業を發達させるには、どのようなことに氣をつけなければならぬか」ということを教科書や、みんなの研究で調べたり、先生からお話をお聞きしました。教科書にも日本の多くの工場は、戦争のために、ひどく害を受けています。それで、國民の貯蓄によつて資本を大きくし、また、工業

は、私たちの國がびんぼうし
たり、いろいろな發明、發達
などがおとろいてきます。そ
うなるとたいへんだから、だ
れ一人がのこらず、みんなで
私たちの國を育てるためには
第一税金をおさめることです
みんなで税金をおさめてりつ
は國にしていききたいもので
す。

新宮	藤崎安正四男幸雄
白濱	横田要二男豊
宇崎	宮内朝男長女惠子
岡	宮崎昭行長女典子
天掛	藤崎眞長女政子
小牧	宮内吟平三男繁雄
石神	大輪惣一長男幸一
宇崎	箕輪新作四男末雄
全	須目政壽長女政子
白濱	鈴木賢一長男賢一
於下	安藤正直二男孝明

南	土子喜久男長女淳子
全	土子喜久男長男實
島並	宮本臣一四女日女子
全	八品德次郎二女トヨ
全	山口保三男詩希鬼
南	谷田二郎長男敏彦
小高	土子好男長男一男
全	箕輪萬壽男長男克己
死亡の部	
麻生堀井弘喜	羽生せい
富田志村永太郎	石神山野り

於下 菅谷正雄二男克己
五丁田拓植利女長女昌子
於下 阿部重夫長男眞一
五丁田阿部重夫長男眞一
於下 小倉利三男吉昭
行方 川島利三男吉昭
田栗又俊昭三男廣
平野明長女和枝
茂木修作二男修

見たつ 四鹿久保田喜宗太
 小牧高瀬勝三郎 船子風聞せ
 き 井貝宮内なか 平野ヤス
 島並飯河さつ 小高茂木徳次
 島並宮本日女子
 以上の人々であつた。